

基礎生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同
生物リズム分科会
第26期・第1回 議事録

日時：令和6年3月6日（水） 16時00分～18時00分

場所：ZOOMによるオンライン会議

出席：深田委員、尾崎委員、坂田委員、遠藤委員、櫻井委員、志賀委員、重吉委員、
内匠委員、寺内委員、沼田委員、安尾委員、吉村委員

欠席 秋山委員、上田委員、佐竹委員、三島委員

オブザーバー 本間さと 前委員

（1）役員を選出について

深田世話役より第26期分科会設置について経緯の説明があり、役員選出に入った。その結果、深田世話役が委員長として推薦され、承認された。その後、副委員長として三島委員が、また幹事としては志賀委員と遠藤委員がそれぞれ選任された。

（2）第26期における分科会の活動企画（シンポジウムなど）

日本時間生物学会が編集を担当し、日本学術会議 生物リズム分科会が編集協力している『生き物とリズムの事典（仮）』は第26期中に刊行できる見込みであることが深田委員長より紹介された。それ以外の26期の活動方針についても委員の間で議論がなされた。その結果、一般社会の興味を引くような公開シンポジウムを開催することを決定した。シンポジウムのテーマについてはさまざまな意見が述べられたが、具体的なテーマと内容・講演者については、櫻井委員、重吉委員、安尾委員、遠藤委員の4名でワーキンググループを立ち上げ、半年程度（2024年9月頃から年内まで）を目処に公開シンポジウムの素案を作り、次回開催予定の第2回分科会に諮ることとした。公開シンポジウムの開催時期は、2024年冬から2025年3月頃までを予定することとした。なお、公開シンポジウムの登壇者（司会や挨拶を含む）には少なくとも2名の本分科会委員が含まれるように計画し、講演者のジェンダーバランスにも十分に留意することを確認した。

（3）その他

第25期までの生物リズム分科会の活動内容について深田委員長より一覧表に基づく説明が行われた。また、日本学術会議をとりまく状況について、法人化が検討されている現状とその問題点などが深田委員長ならびに尾崎委員から報告された。